

志賀原子力発電所2号機の低圧タービン点検結果の報告 ならびに業績予想の再修正について

平成18年8月3日
北陸電力株式会社

当社は、原子力安全・保安院からの指示に基づき、7月5日から志賀原子力発電所2号機(改良型沸騰水型、定格電気出力135万8千キロワット)の低圧タービンの点検を実施していましたが、点検が終了したため、本日、その結果を同院に報告しました。

点検の結果、低圧タービンA、BおよびCの第12段の羽根840枚の内、258枚の羽根の根元取付け部(フォーク)にひび割れまたは折損を確認しました。また、その他の部位については、異常は見られませんでした(添付資料参照)。

今後は、徹底した原因究明を行い、万全な対策を講じてまいります。

なお、この点検結果については、石川県および志賀町と締結している連絡基準に係る覚書に基づき、当該自治体へ連絡しています。

また、上記点検結果により、志賀原子力発電所2号機の停止が相当期間に及ぶと見込まれることから、7月4日に修正公表した平成18年度業績予想を以下のとおり再修正します。

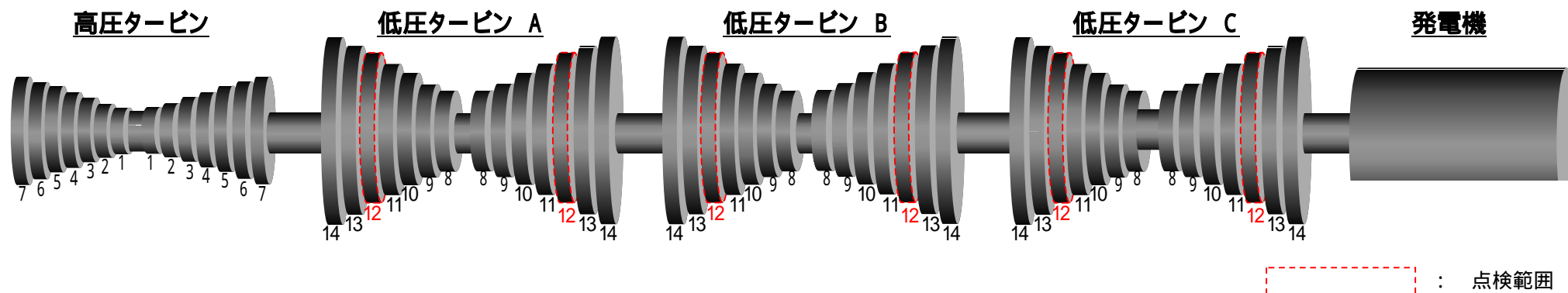
<平成18年度業績予想>

(単位：億円)

		今回修正予想		5月発表予想		増減額	
		上期	年度	上期	年度	上期	年度
連結決算	売上高	2,450	4,800	2,450	4,900	-	100
	経常利益	230	300	260 <210>	400 <300>	30 <20>	100 <->
	当期純利益	140	180	160 <130>	240 <180>	20 <10>	60 <->
個別決算	売上高	2,400	4,700	2,400	4,800	-	100
	経常利益	220	290	250 <200>	390 <290>	30 <20>	100 <->
	当期純利益	130	170	150 <120>	230 <170>	20 <10>	60 <->
(前提諸元)販売電力量		138億kWh	276億kWh	134億kWh <136億kWh>	272億kWh <274億kWh>	4 <2>	4 <2>

< >内は前回(7月)修正予想値及び増減

低圧タービンの点検結果



1. 第12段の羽根根元取付け部（フォーク）の点検結果

（単位：枚）

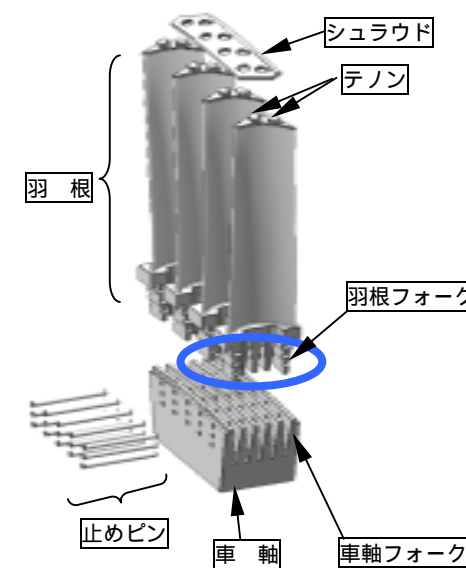
	低圧タービン A		低圧タービン B		低圧タービン C		合計
	高圧タービン側	発電機側	高圧タービン側	発電機側	高圧タービン側	発電機側	
ひび割れ または 折損	46	29	50	21	60 ^{*1}	52	258 ^{*1}

（注） 低圧タービン第12段の羽根の枚数は、140枚×6組＝840枚

*1 内2枚の羽根フォークの一部が折損

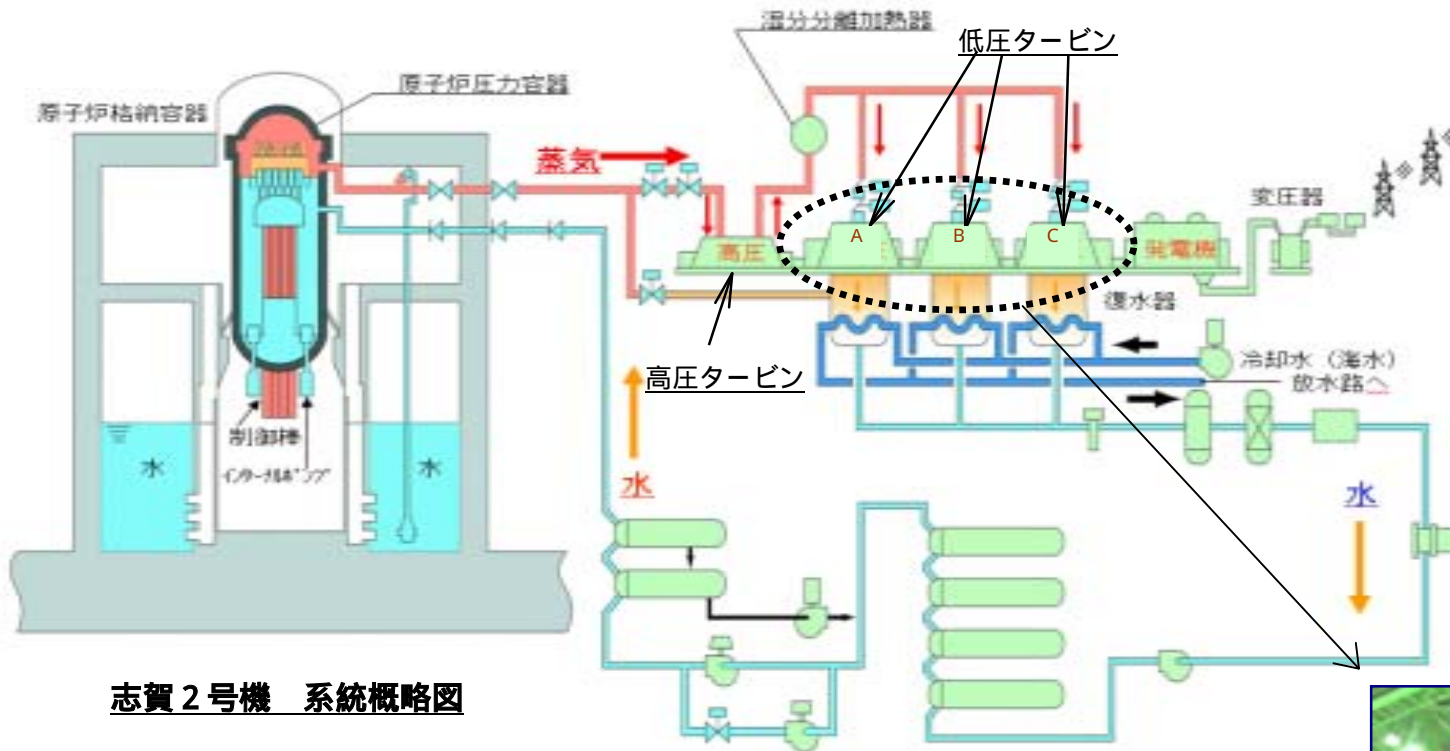
2. 第12段のその他部位の点検結果

車軸フォーク等に異常がなかった。



○：一部にひび割れまたは折損を確認した箇所

志賀原子力発電所 2号機 低圧タービン点検範囲



志賀 2号機 系統概略図

低圧タービン ロータ



点検対象

低圧タービンの羽根のうち、浜岡 5号機で破損した第 1 2 段の羽根全数を点検した。

$$(140 \text{ 枚} \times 6^{*1} = 840 \text{ 枚})$$

* 1 : 低圧タービン 3 基の高压タービン側と発電機側で計 6 組